



# Regional Innovation Research Center

Graduate School of Economics and Management  
Tohoku University  
2008

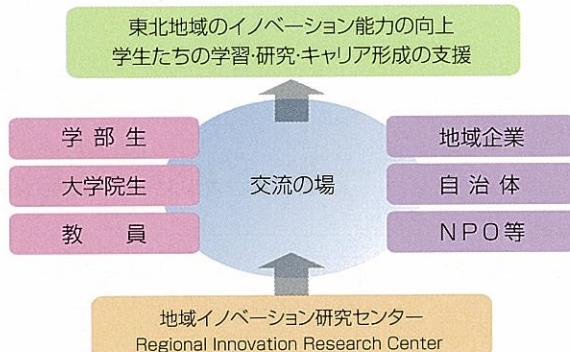
東北大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

# 設立目的・事業・運営体制

## 設立目的

地域イノベーション研究センター（以下、センター）は、経済学研究科内外の知的能力を組織的に結集し教育研究活動を行うことによって、東北地域のイノベーション能力の向上を図り、東北地域の産業振興と経済発展に貢献するために必要な諸事業の企画、実施および調整を行うことを目的とします。

また、センターは本学および地域の学生たちに地域の企業、自治体、NPO等の実務家たちと交流する場を提供することによって、東北地域の現実について強い関心と理解をもち地域発展への貢献意欲と能力をもつ人材を育成します。



## 事業内容

センターは以下のような事業を実施します。

- ▶ 地域イノベーションに関する研究の推進
- ▶ 地域イノベーションに関する教育の推進
- ▶ 地域イノベーションを牽引する指導者的人材（地域プロデューサー）の育成
- ▶ 地域イノベーションに関する情報交流の推進
- ▶ 委託研究、寄附講座、共同研究の受入

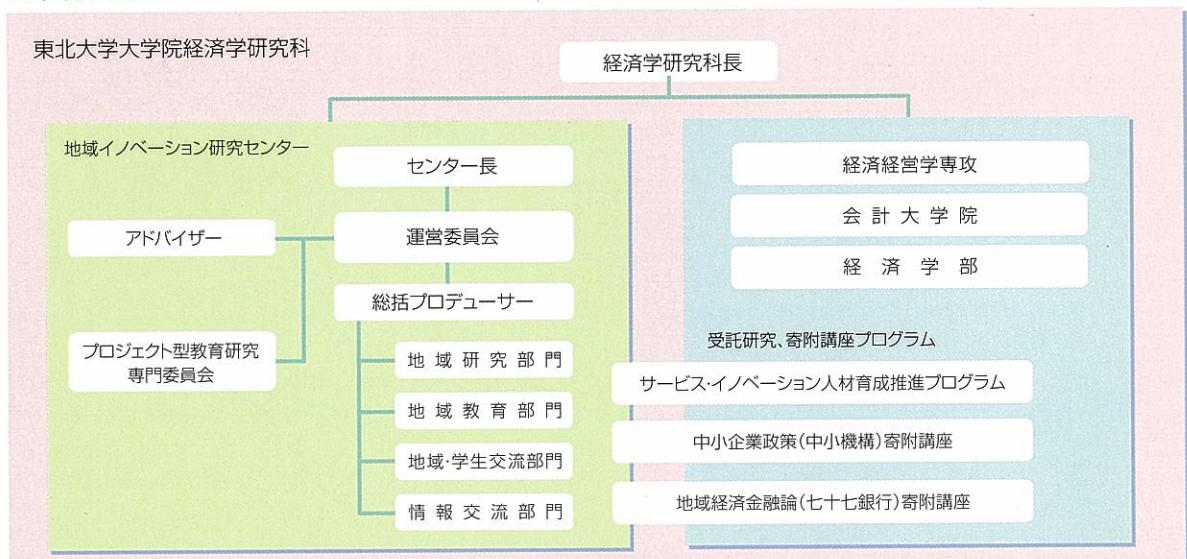
## 東北地域の地域力の向上を プロデュースする



センター長  
大滝 精一 経済学研究科教授

急速な人口減少のもとで、いかに東北地域の活力を向上させ、持続可能な成長を図っていくのかが大きな課題となっております。地域イノベーション研究センターの使命は、こうした東北地域の課題に応え、イノベーションの実現を通して地域力の持続的向上を推進していくことにあります。地域イノベーションは大学だけの力では実現できません。東北地域に関わりをもつ企業、政府、自治体、非営利組織、それに他の大学や研究教育機関が、地域イノベーションの実現に向けて共通の目的を設定し、互いの個性を生かしつつ協力し合うことが不可欠です。当センターは、これまでの成果と経験を基盤として、東北地域活性化のプロデューサーとしての役割を果たしていきたいと考えております。

## 運営体制



# 地域研究・地域教育プログラム

## シンポジウム・フォーラムの開催

地域の中小企業経営および経済・産業に関するシンポジウムとフォーラムを開催することによって、地域の重要課題を焦点化し、課題解決に向けての議論と学習の場を提供します。

|                                     |
|-------------------------------------|
| センター設立記念国際シンポジウム (2005.09 仙台国際センター) |
| ……東北アジアの産業クラスター                     |
| 第1回フォーラム (2006.03 ホテル仙台プラザ)         |
| ……若者に選ばれる地域企業の条件：地域企業の人材獲得と育成       |
| 第2回フォーラム (2006.11 仙台市戦災復興記念館)       |
| ……中小企業のイノベーションを起こす情報化への新たな挑戦        |
| 第2回シンポジウム (2007.09 仙台国際センター)        |
| ……東北地域の経済産業の問題点を探る                  |
| 第3回シンポジウム (2008.03 仙台国際センター)        |
| ……地域ブランドの作り方                        |



## 公開講座



### みやぎ県民大学開講講座

宮城県の委託事業として、地域中小企業のイノベーション能力の向上を図るために開放講座を開講し、多くの受講者から高い評価を受けました。

2006年度 地域企業イノベーションの切り口 (70名受講、40名修了)

2007年度 地域企業の飛躍を考える40の質問 118名受講、62名修了)

### 公開講座「イノベーション・カレッジ」の開講

(財)東北産業活性化センターと連携して、東北の各県を巡回しながら、中小企業経営および地域活性化に関する公開講座「イノベーション・カレッジ」を開催します。

2008年度 (予定) 宮城県、青森県、山形県

2009年度 (予定) 宮城県、秋田県、岩手県

2010年度 (予定) 宮城県、新潟県、福島県

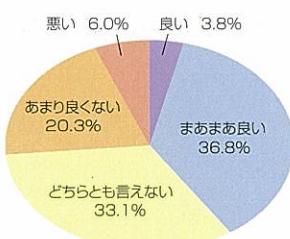
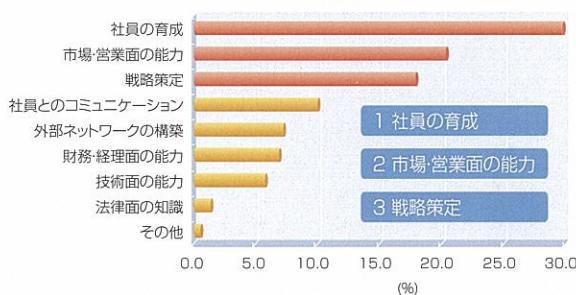
### 公開講座「東北地域の中小企業経営と地域活性化」の開講

(独)中小企業基盤整備機構東北支部と連携して、学部学生と中小企業関係者などの一般市民を対象に公開講座を開催します。講師は、東北地域の優良中小企業の経営者、東北経済産業局、自治体等の実務担当者が務めます。現場感あふれる事例を通じて、中小企業経営の特徴・課題・ダイナミズムを学習し、中小企業支援施策、産学官連携および地域活性化の現状と重要課題に対する関心・理解を高め、地域発展への貢献意欲をもつ人材育成を図ります。

## 地域中小企業景況調査

宮城県中小企業家同友会が会員企業を対象にして行うアンケート調査に協力しています。年2回、会員企業の現在の経営状況および3ヶ月後の経営状況の予測について調査を行い、報告書を作成します。また、毎回の調査では、時期に合う特別テーマが設定され、地域中小企業の取り組みの現状と課題についても調査が行われます。

### 経営者として向上させたい能力（複数回答）



2007年度上半期の景気の状況

### これまでの特別テーマ

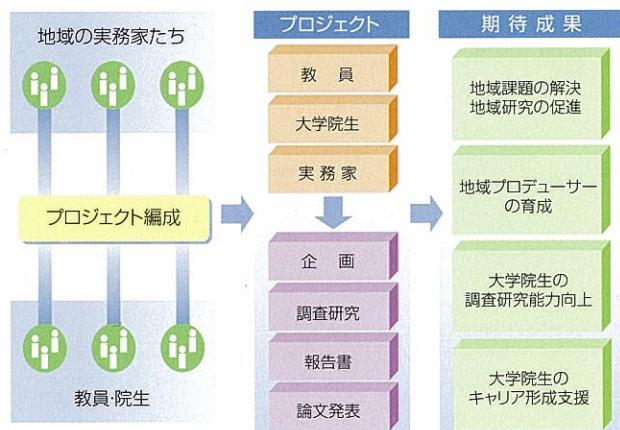
- 2005年度上半期 会社の経営で問題となっていること
- 2005年度下半期 会社の経営上の主要な取り組みの状況
- 2006年度上半期 経営者として向上させたい能力
- 2006年度下半期 障害者雇用について
- 2007年度上半期 後継者問題について
- 2007年度下半期 経営指針の作成および運営について

# プロジェクト型教育研究プログラム

## プログラムの概要

プロジェクト型教育研究プログラムは、地域研究部門の重要な事業として地域課題に関する研究を促進し、それを通じて特定の地域課題を解決することを目的として実施されます。そのために、特定の地域課題を解決するためのプロジェクトが編成され、本研究科の教員（プロジェクト・リーダー）と大学院生および地域の実務家たちが共同で調査研究を行い、課題解決に取り組みます。

また、大学院生たちにプロジェクト経験、実務家たちとの交流および調査研究の機会を提供することによって研究者としての能力とキャリアの形成を支援します。



## 実施プロジェクトの例

### 仙台印刷工業団地クラスター革新プロジェクト（2006年度～）

プロジェクト・リーダー：大滝精一教授

本プロジェクトは、2006年4月から仙台印刷工業団地協同組合の再活性化のための取り組みをサポートすることを目的として始まりました。仙台印刷団地は印刷業界初の中核企業共同化事業体として1963年に発足して以来、様々な共同事業を行ってきました。しかし、最近IT社会の到来など印刷産業を取り巻く環境の激変に伴い、印刷団地も自発的にイノベーションを起こしていく必要性に迫られています。本プロジェクトでは、印刷団地再編における課題の発見と解決に取り組みながら、将来的に印刷団地を中心としたクラスター化の実現に向けた課題解決を目指します。

### 地域経営人材育成プロジェクト（2006年度～）

プロジェクト・リーダー：藤本雅彦教授

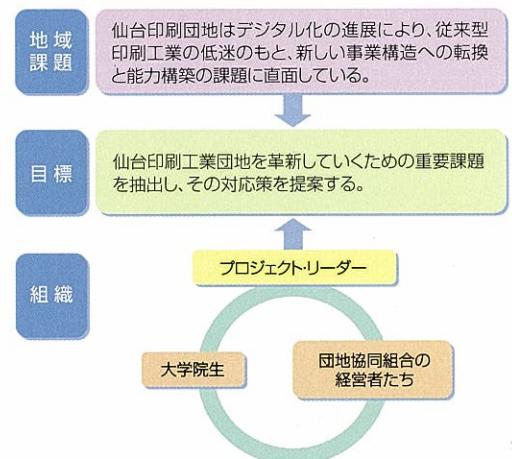
今日、我が国では地域社会においても継続的なビジネスモデルの創造と革新が求められていますが、地域企業の経営人材（トップマネジメント）の手腕に大きく依存します。とりわけ将来的に様々なイノベーションを誘発し牽引する次世代の経営人材の育成は、地域社会を発展させるための不可欠な課題です。大手企業においては次世代の経営人材の育成のための体系的な経営者教育などが普及していますが、地域の中堅・中小企業において自社単独でこのような施策を立案し実践するのは非常に困難です。そこで地域ぐるみで次世代の経営人材を育成するための社会的な施策が求められています。このプロジェクトの目的は、そのための方策を調査研究し、その成果を地域社会に還元することです。

### NPO人材マネジメント・プロジェクト（2007年度～）

プロジェクト・リーダー：西出優子准教授、高浦康有准教授

1995年の阪神・淡路大震災を契機に、社会的使命の実現を目指して活動するNPO（非営利組織）の役割が大きくなっています。NPOが活動を継続しサービスの質を担保するためには、ボランティアを含めた人材育成やリクルート等の人材マネジメントが求められます。本プロジェクトでは、活動安定期に入っているNPOに焦点を当て、東北地域のNPOを対象に、人材マネジメントの現状と課題に関する実態調査を行います。これにより、NPOにおけるボランティアやスタッフのマネジメントおよびそれを支える社会や組織のあり方について具体的な方策を探るとともに、課題解決に向けた提案を行います。

※上記のプロジェクトのほかにも、実施予定のプロジェクトがあります。



研究会の様子

# 地域・学生交流プログラム

## インターンシップ・プログラム

インターンシップは、学生たちが在学中に大学内での授業を通じて修得した理論や知識を、企業や公的機関等の実社会で実践し体験することです。センターは2種類のインターンシップ・プログラムを提供しています。

### プロジェクト型長期インターンシップ

地域社会の現実に強い関心をもち地域発展に貢献しようとする人材を育成することを目的として、センターが受入機関と参加学生を募集して実施するインターンシップです。参加学生は事前研修を受けてから、仙台周辺の中企業、自治体、NPOなどで2ヶ月間にわたりて受入機関ごとに設定された特定課題を遂行しながら業務目標と学習目標の達成を目指して受入機関での就業体験をします。

### 自主持ち込み型インターンシップ

学生が夏休み期間などをを利用して個人的に受入機関のインターンシップ募集に応募し、受入承諾を得て実施するインターンシップです。



コミュニケーション能力向上のための事前研修

### 事前研修および受入機関担当者研修

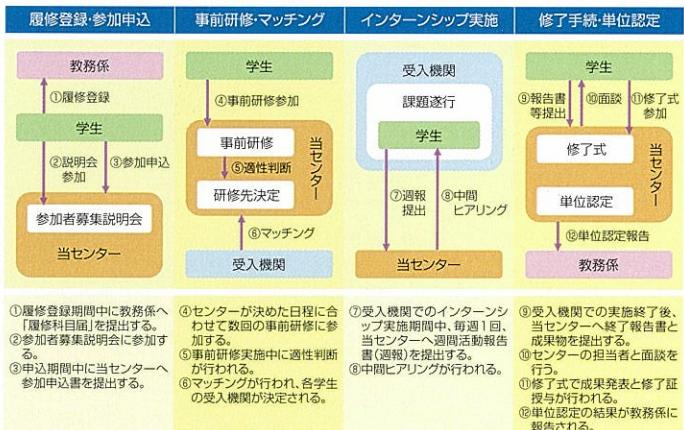
プロジェクト型長期インターンシップに参加する学生に対しては、職場でのマナー、コミュニケーション能力および業務遂行方法の基礎などを修得させるための、専門家による事前研修を行います。また、受入機関のインターンシップ担当者に対しても効果的な指導のための研修を提供します。

### 地域の経営者との交流・創業支援セミナー

地域で成長しているベンチャー企業や優れた成果を上げている中小企業の経営者と学生たちとの交流の場として地域企業の協力のもとで開催するイベントです。経営者による企業紹介と講演、学生たちと経営者との交流を通じて、学生たちに地域中小企業の可能性と課題を認識してもらいます。また、創業支援セミナーと経営教育を通じて、学生たちの起業意欲と能力を形成していきます。

今後は、本学の学生だけでなく地域レベルで学生たちと地域社会との交流へと事業範囲を拡大し、交流活動の高度化にも取り組んでいきます。

### プロジェクト型長期インターンシップ（経済実習）の実施プロセス



### プロデューサー塾 ※前事業名：イブニング・トーク

地域社会の各分野でイノベーション活動に取り組んでいる地域プロデューサーの方を囲んで、問題意識、課題への取り組み、考え方や生き方について学生たちとざっくばらんに語り合う場です。

#### 2005年度

- 第1回 人間力（三條毅氏）
- 第2回 仙台を学生の多いまちから学生のまちへ（渡辺一馬氏）
- 第3回 存在証明と所属証明（山崎賢治氏）

#### 2006年度

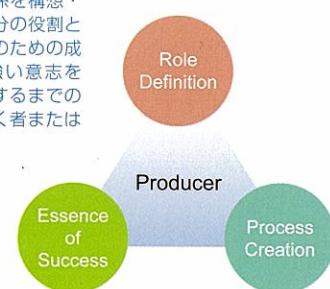
- 第4回 東北におけるベンチャー企業育成の必要性（熊谷巧氏）
- 第5回 私が大企業を見限ったわけ（小泉光氏）
- 第6回 ライフスタイルをプロデュース（一ノ宮嘉道氏）
- 第7回 六本木ヒルズを捨てた男（小泉彌和氏）
- 第8回 田中康夫とガチンコ勝負した男の今（佐藤崇弘氏）
- 第9回 食材王国みやざ・よもやま話（三輪宏子氏）

#### 2007年度

- 第10回 生きているってなんだ。学校出たら何が生きかいだ（高橋四郎氏）
- 第11回 スローフード運動の展開（若生裕俊氏）
- 第12回 広報の仕事～マーケティングから危機管理まで～（萩原誠氏）
- 第13回 起業して、よかったこと（五十嵐実氏）
- 第14回 おらほのプロジェクトX（岸田勝人氏）
- 第15回 農村における社会起業家～女性の自立、家庭と地域の変革～（加藤孝志・重子氏）

#### [地域プロデューサー]

地域の新しい共生関係を構想・提案し、その実現を自分の役割として定義し、目的達成のための成功の本質を把握し、強い意志をもってその目的を達成するまでのプロセスを創造していく者またはその役割



# 特別プログラム

## サービス・イノベーション 人材育成推進プログラム

Human Development Program for Service Innovation

経済学研究科は、2007年10月から文部科学省の委託事業として「サービス・イノベーション人材育成推進プログラム」を実施しています。日本のGDPの70%がサービス産業から生み出されるなど、近年、先進国ではサービス産業の重要性が高まっています。しかし、日本のサービス産業の生産性は米国に比べて低い水準に留まっています。本プログラムはサービス部門において新たな生産性を創造し、サービスの質を管理できる人材を育てるために、以下のような諸事業を行います。センターは本プログラムの実施を支援しています。

2007.10 キック・オフ・セミナーの開催

2007.12 テクニカル・セミナーの開催

楽天野球団が考えたこと

島田 亨 楽天野球団代表取締役社長

2008.1 テクニカル・セミナーの開催

サービスマネジメント：

イントロダクション&リサーチテーマ

藤川佳則 一橋大学准教授

2008.3 携帯電話を使った県内観光地での顧客

満足度調査の実施

2008.3 国際コンファレンスの開催

サービス産業の生産性向上に向けて

### 経済・経営学と数理・工学系を融合させた新たな知の教育事業

- イノベーションにかかわる基礎的な経済経営理論
- サービス・イノベーションにつなげるための事業分野の理解
- イノベーションを定量化するためのサービス分野の情報・統計・数理分析
- イノベーションをマネジメントするための経営戦略

### サービス・セクターにおける生産性の計測および評価、 事業場における生産性改善のための実践的プロジェクト事業

- 地域内の事業者と連携した、生産性改善の実践プロジェクト
- サービス・セクターにおける生産性とイノベーションの定量的測定プロジェクト
- CSI（顧客満足度指標）データベース構築および分析プロジェクト

### 研究成果を社会に普及・還元するための事業

- シンポジウム、コンファレンス、セミナーの開催
- 教材作成と成果普及事業

サービス・イノベーション  
・マネージャーの育成

地域におけるサービス・  
イノベーションの促進

## 寄附講座

経済学研究科は、2006年9月から(独)中小企業基盤整備機構から寄附講座を受け入れ、中小企業政策に関する教育研究を行っています。また、2008年4月からは(株)七十七銀行から寄附講座を受け入れ、地域における経済・金融に関する教育研究を行います。センターは、これらの寄附講座の実施を支援しています。

### 中小企業政策（中小機構）寄附講座

(独)中小企業基盤整備機構から中小企業政策の寄附講座を受け入れ、新連携事業およびインキュベーション事業などの中小企業政策について調査研究を行うとともに、大学院講義を開講し、セミナー等を開催します。

○大学院開講科目：「中小企業経営者論」、「中小企業政策」

### 地域経済金融論（七十七銀行）寄附講座

(株)七十七銀行から地域経済金融論の寄附講座を受け入れ、日本における首都圏、東北地域における仙台圏への経済活動の集中化および経済・金融取引のボーダレス化などの状況を分析するとともに、それらを踏まえた地域金融機関の役割について教育研究を行い、研究報告会を開催します。

○大学院開講科目：「地域経済論」、「地域金融論」

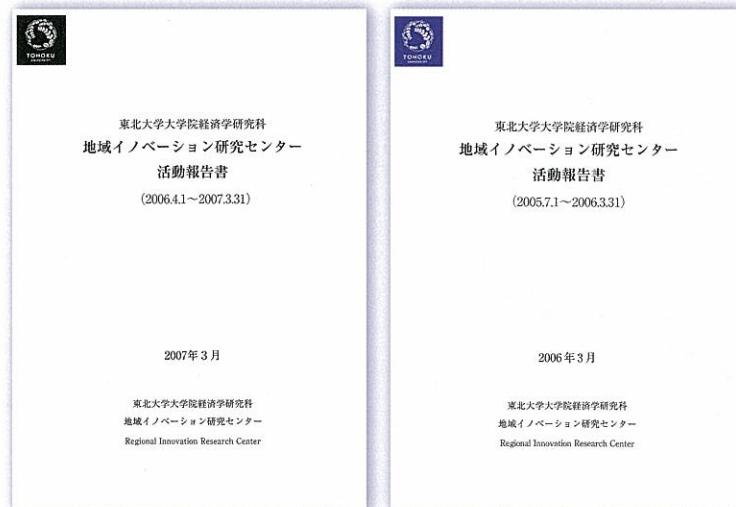


大野雄三客員教授による中小企業経営者論の授業

# 情報交流プログラム

## ホームページによる交流

センターのホームページを通じて、センターの概要、事業内容、インターンシップ案内などの情報を提供するとともに、センター活動に関するニュース、各種募集の案内などを行います。また、センターのパンフレットや各年度のセンター活動報告書などの資料をダウンロードすることができます。



活動報告書

## 広報イベントへの出展

センターは本学および地域社会で開催される各種イベントに積極的に出展し、センターの目的と事業活動を広く知らせることによって、地域社会とのネットワーク形成と連携活動の拡大に努めています。

### 「東北大学イノベーションフェア2007 in 仙台」に出展

センターは経済学と経営学の分野で蓄積してきた知的能力を活用して地域におけるイノベーション能力の向上につながる研究・教育・人材育成・情報交流などの様々な活動を行っています。2007年10月に開催された本学のイノベーションフェアに出展し、イノベーション活動に携わる関係者および一般市民にセンターの事業活動を紹介しました。



### 本学100周年記念まつりに出展

本学100周年記念まつり期間中に、センターの目的と事業活動を紹介するパネル展示を行うとともに、「一文字で表現する東北大学への期待」というイベントを開催し、多くの同窓生、一般市民、大学教職員の皆様から本学の将来に向けての期待と声援を集めるなど、交流を行いました。

## 連携事業・委託事業・寄附金等の受入

センターは、地域イノベーション能力の向上というセンターの設立目的に合致するような連携事業、委託事業、寄附金等の受入に関する相談を受け付けます。相談をご希望の方は、センターまでお問い合わせください。

## 交通アクセス

### 周辺図



### 構内図



JR仙台駅より仙台市営バスにて「東北大川内キャンパス」下車(20分)  
仙台駅西口バス乗り場9番「青葉通・工学部経由動物公園循環」、  
「宮教大」、「成田山」、「青葉台」行きの各バス利用  
JR仙台駅西口よりタクシーご利用の場合は約15分

### 連絡先

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1  
東北大学大学院経済学研究科  
地域イノベーション研究センター  
電話・FAX 022-795-3108  
E-mail rirc@econ.tohoku.ac.jp  
internship@econ.tohoku.ac.jp(インターンシップ専用)  
Homepage <http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/>

## センター略歴

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 2005.7 | 7     | 地域イノベーション研究センター (RIRC) 設立<br>ベンチャー創業セミナーの開催                              |
| 9      | 9     | 第1回宮城県中小企業家同友会アンケート調査<br>設立記念国際シンポジウム「東北アジアの産業クラスター」の開催                  |
| 10     | 10    | 創業支援セミナーの開催  |
| 11-12  | 11-12 | 第1期起業家育成(インターンシップ)プログラムの実施<br>『東北 21』(東北経済産業局)への記事掲載                     |
| 11     | 11,12 | 第1回、第2回イブニング・トークの開催  |
| 2006.1 | 2     | 第3回イブニング・トークの開催<br>フォーラム「どうなる介護保険?」「どうする市町村・介護保険事業所の経営!」の開催              |
| 3      | 3     | 第2回宮城県中小企業家同友会アンケート調査<br>第1回 RIRC フォーラム「若者に選ばれる地域企業の条件」の開催               |
| 2006.4 | 4     | プロジェクト型長期インターンシップの単位履修化<br>自主持ち込み型インターンシップの開始                            |
| 4      | 4     | ベンチャー EXPO2006 の開催   |
| 5      | 5     | 第4回イブニング・トークの開催  |
| 6      | 6     | 第5回イブニング・トークの開催  |
| 8-9    | 6-8   | 第2期プロジェクト型長期インターンシップの実施<br>第6回イブニング・トークの開催                               |
| 7      | 7     | 第3回宮城県中小企業家同友会アンケート調査<br>みやぎ県民大学開放講座の開催                                  |
| 9      | 9     | 中小企業政策(中小機構)寄附講座の設置  |
| 10-12  | 11    | 第3期プロジェクト型長期インターンシップの実施<br>第2回 RIRC フォーラム「中小企業のイノベーションを起こす情報化への新たな挑戦」の開催 |
| 11     | 11    | 第7回イブニング・トークの開催<br>第8回イブニング・トークの開催                                       |
| 2007.1 | 1     | 第4回宮城県中小企業家同友会アンケート調査<br>新春(第9回)イブニング・トークの開催                             |
| 2      | 2     | 『産学官連携ジャーナル』(JST)への記事掲載  |
| 2007.5 | 6     | 第10回、第11回イブニング・トークの開催<br>第12回イブニング・トークの開催                                |
| 7      | 7     | 第5回宮城県中小企業家同友会アンケート調査  |
| 8-10   | 8     | 第4期プロジェクト型長期インターンシップの実施<br>東北大学100周年記念まつりへの出展                            |
| 9      | 9     | みやぎ県民大学開放講座の開催<br>第2回 RIRC シンポジウムの開催                                     |
| 10     | 10    | 「東北地域の経済産業の問題点を探る」<br>東北大学イノベーションフェア 2007 in 仙台への出展                      |
| 11     | 11    | 第13回、第14回イブニング・トークの開催<br>講演会「働き甲斐のある会社 NO.1 の社長が語る『人と組織』」を東北大学経済学会と共に開催  |
| 12     | 12    | 第15回イブニング・トークの開催   |
| 2008.1 | 1     | 『IKUEI NEWS』((財)電通育英会)への記事掲載<br>第6回宮城県中小企業家同友会アンケート調査                    |
| 1      | 1     | 「新連携」セミナーの開催   |
| 2      | 2     | センター内規の制定および運営組織の整備  |
| 3      | 3     | 第3回 RIRC シンポジウム「地域ブランドの作り方」の開催   |

**Regional Innovation Research Center  
Graduate School of Economics and Management  
Tohoku University**

Kawauchi 27-1, Aoba-ku, Sendai